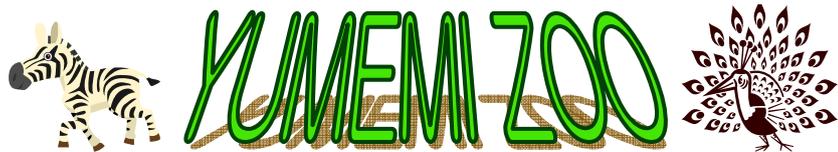


ゆめみにゅーす



季刊 VOL. 25
発行日 平成24年8月6日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:24種287点
鳥類:26種135点
爬虫類:11種50点
(平成24年7月末日現在)



▲きれいになりました

シマウマの削蹄を行いました

6月19日、シマウマ・ミドリ削蹄を行いました。
ウマの指は、人間でいう「中指」1本だけが発達しており、指1本ずつで体を支えている状態です。その指の爪が、ウマでは「蹄」になります。爪なので伸び続け、固い地面を歩くことで適正に擦り減りますが、歩き方のクセや運動量によって、伸びすぎたり、変な形に伸びてしまったりすることがあり、怪我などの原因になることもあるため、削って形を整える「削蹄」が必要になることがあります。

当日は朝からミドリが眠くなる薬を混ぜた餌を与え、とろ～んとしてきたところで、スタッフ一同、日頃鍛えたチームワークで、ウマが暴れないよう固定していき、プロの削蹄師さんの手によって蹄が削られていきます。準備から終了まで、ウマに負担がかからないよう、すべての作業が素早く、無駄なく行われます。なので、終わると緊張感からスタッフはぐったりしてしまいましたが、ウマの美しくなった蹄をみると、「ああよかった」と心から思えます。

レッサーパンダについてのお知らせ

6月9日にアンが赤ちゃんを出産しました。アンにとって初めての出産・育児のため、アンに刺激を与えないよう、慎重にお世話をしています。アンは赤ちゃんを寢室の木箱に入れたまま育てており、赤ちゃんの鳴き声や、寝返りを打つ音などは聞こえるものの、姿はまだ職員も見えておらず、楽しみにしています。アンは出産直後には神経質に見えることもありましたが、最近では精神的にだいぶ落ち着き、たくさんおっぱいを出すため、竹をもりもり食べて、元気しておりますのでご安心ください。

アンと赤ちゃんが落ち着くまで、しばらくファファのみの展示となります。アンと赤ちゃん

の展示時期については、アンまかせになりますので、気長に、気楽にお待ちくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



ファファ(右)とアン(左)

第12回秋の動物園まつりのお知らせ

今年は秋の動物園まつりを10月8日(月・祝)に行います。

★午前10時～午後3時(雨天中止)

★動物リレーガイド、シマウマ餌やり体験 等

詳しくは市政だより・当園ホームページをご覧ください。



★ピックアップ動物★

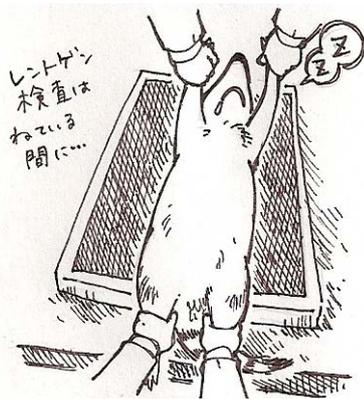
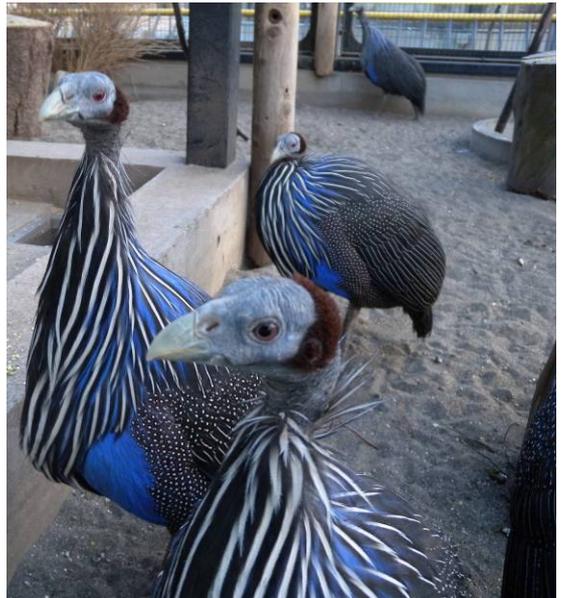
フサホロホロチョウ

分類:鳥綱 キジ目 ホロホロチョウ科

アフリカ大陸の乾燥地帯の草原に暮らしています。飛ぶことより走ることの方が得意です。頭部に羽毛がほとんどなく耳から後頭部を覆うのみ、また首から胸にかけて生えている房（ふさ）のような縞模様の羽、体の羽の水玉模様、鮮やかな青い羽毛に真っ赤な眼…という美しい外見が特徴です。

群れで暮らしているため、他の仲間の動きに敏感です。また、群れの誰かが声を上げると、つられて皆で鳴き始めることもしばしばあります。いかつい顔に似合わない、とてもきれいな声も特徴のひとつです。

見た目は似ていますが性格はさまざまで、気の強い個体や人慣れしている個体もあり、給餌の時には飼育担当を追いかけたり、バケツから餌をかすめていたりするシーンが見られるかもしれません。



獣医の日記

短い手足でよく動き回り、愛嬌のあるしぐさで楽しませてくれるアカハナグマ。その中の1頭、コジローが長期入院から復帰しました。

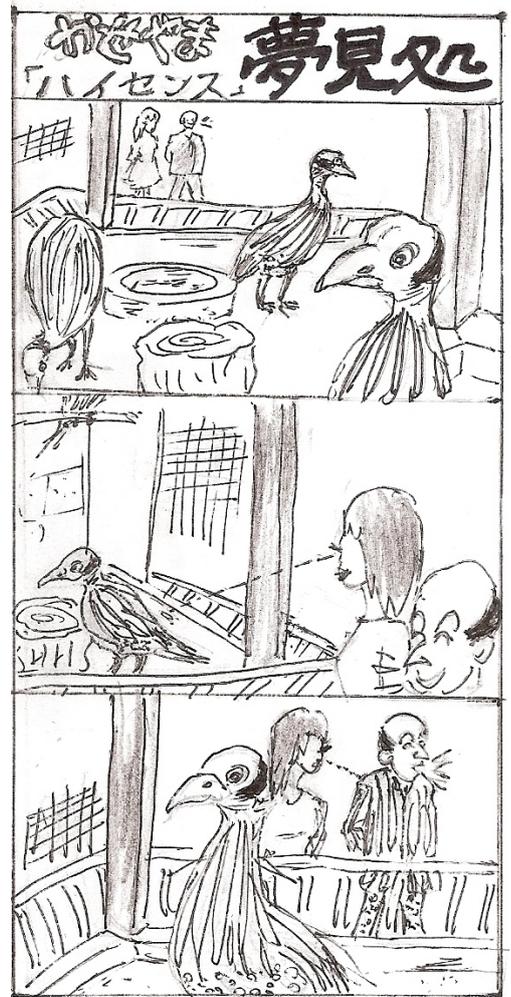
昨年の春のこと。尾をひきずって歩くため、できてしまった擦り傷を治療していたのですが、ある日突然、腰が

ふらふらして歩けなくなりました。検査の結果、背骨が変形していることがわかりました。原因は、おそらく年齢のため…。年とともに、ゆっくりゆっくり変形してしまったのです。そしておそらく、尻尾を引きずっていたのもこれが原因だと思われました。変形した背骨を元に戻す方法はありません。治療は、骨の変形によって圧迫された神経の痛みを取り除くことです。

かくして、コジローの長い療養生活が始まりました。うまく動けない状態で木に登って落ちてしまっただけでは困りますから、病院に入院となりました。幸い、薬もしっかり飲み、「個室」の入院生活を満喫してくれたようです。

そして約1年ぶりに退院。1年も離れてしまったもう1頭のトキエとはお互い何もなかったかのようにすぐに仲良くしてくれました。

「老い」は病気ではありません。でも、老いからくる不調を少しでも減らして快適にすることは、動物においても大事なことなのです。



★動物たちの主な移動(平成24年5月1日～平成24年7月31日)★

ホンシュウジカ(♀1繁殖)、ミーアキャット(♂1♀1繁殖)、マーコール(♀1死亡、♂1繁殖)、レッサーパンダ(性別不明1繁殖)フンボルトペンギン(♂1♀1死亡)、コシャモ(♀1死亡)